

- 1 派遣期日 平成 27 年 12 月 4 日（金）
- 2 研修先 学校名 東京都大田区立洗足池小学校
所在地 東京都大田区南千束 3－35－2
(<http://academic2.plala.or.jp/snzke/>)

3 研修内容

- | | |
|---------|---|
| ・研究会テーマ | 外国語に親しみ、進んでコミュニケーションを図ろうとする児童の育成 ～活用・発信の活動を通して～ |
| ・講演 | 小学校における外国語教育のこれから
～外国語活動の成果と課題を踏まえて～
文部科学省初等中等教育局教育課程国際教育調査官 直山 木綿子 |

(1) 研修選定の理由

洗足池小学校では、文科省指定の外国語活動先進校として研究を進めている。1 学年から 6 学年まで各学年の実態に合わせた HRT による授業や、高学年が主体となり下学年に外国語活動を展開する「英語カフェ」など、様々な形態で外国語活動の研究に取り組んでいる。日立市で行われている ALT の外国語活動と違い、どのような計画でどのような児童像を描き研究に取り組んでいるのか大変興味深く、この研修へと出向いた。

(2) 実践事例

洗足池小学校では、定期的に児童アンケートを行い、児童が「楽しいと感じる内容」、「苦手と感じる内容」などを明確にし、常に課題解決を意識しながら研究に取り組んでいる。さらに、学年ごとの年間指導計画の作成や、学年段階を踏まえた教材開発などにも取り組んでいる。授業展開においては、ユニバーサルデザインに則り授業展開を行っている。

① 魅力ある授業作り

- ICT 機器の活用（パソコン、プロジェクター、実物投影機など）
- フラッシュカード・ピクチャーカードの活用
- 地域の人材の活用（東京工芸大の学生・地域の外国人）
- 段階に応じた英語の歌唱教材
- 音楽に合わせたダンスの振り付け・体感的な英語のリズム
- チャンツの活用
- 異年齢集団による「英語カフェ」の活用
- ユニバーサルデザイン



導入	…	英語であいさつ・英語で歌う・英語で一問一答	など
展開①	…	単語を聞く・聞いて探す・本の読み聞かせを聞く	など
展開②	…	デモを見る・自演する・仲間と実演する	など
終末	…	振り返りカードを書く・歌を歌う・あいさつをする	など

② 学習環境の整備（掲示物）

- 単語カード（学年の学習内容に合わせた）
- 派生語の樹形図
- 学年の足跡（既習事項の確認）
- 反対語（生活の中での反意語など）
- 独自のカラーを表す学級掲示物



(3) 公開授業

1 学年…これはなにかな？

- 友達同士でヒントを英語で出す活動（十分な語彙力）
- ヒントカードは全て児童の手作り
- 視覚的ヒントから新しい英語の発想

2 学年…レストランへ行こう！

- 自分の欲しい物を英語で言ったり聞いたりする活動
- 単語の他に序数の概念（複数形）
- グループ活動がメイン

3 学年…聞いてみたいの、あなたのこと

- どこ出身かを英語で尋ねカードにまとめる活動
- 地域の人材9名（すべて外国人）が授業に参加
- 自分のことに関して（名前や年齢）英語で伝える

4 学年…できることを伝えよう

- 身近なことについてできる、できないを英語で伝える活動
- 話題の選択肢が幅広い
- 共通でできることを探しながら仲間を集めていくゲーム

5 学年… What's this ?

- 幅広い語彙力（動物、色、果物、食べ物、スポーツ、文房具、天気、形、国）
- チャンツゲーム・ジェスチャーゲームなどリズムや体を使った活動
- 自分たちで問題を考え英語を使って質問する活動

6 学年… What time do you get up ?

- 自分の一日を英語で紹介する活動
- 作文せず自分の語彙力で説明
- 児童同士が英語で質問・応答
- ネイティブな発音



班で問題を出し合う（1 学年）



ALT を交えての活動(3 学年)



自分の一日の説明(6 学年)

(4) 感想

今回の研修では、学校全体が英語活動に対して目標を持って取り組んでいく必要があると改めて感じた。洗足池小学校では、どの学年の児童も進んで英語に関わろうという姿勢で取り組んでいた。特に、「英語カフェ」での、上学年の児童が下学年の児童に英語で話しかけ、手探り状態ながらも一生懸命考え、英語で答える姿は大変印象深かった。日本語ではなく全てヒントは英語で話し、下学年の児童が、次は何を話すのかを楽しみに待っている姿は、高学年の児童にも刺激になっていた。その刺激がさらなる語彙力アップへつながっていたように感じた。また、授業に関しては、教師一斉指導型の授業ではなく、周りの友達との関わり合い、地域の人材活用、教材教具を自主製作など、すべてにおいて児童と教師、そして地域が共に関わることで、よりよい物を作り上げていると感じた。学ぶべき、覚えるべきといった授業ではなく、「わかるから楽しい」、「楽しいから学ぶ」という姿が見て取れた。そして、教師一人一人の英語力もとても高く、自信をもって授業に取り組んでいた。今回の研修は、非常に有意義な研修となった。今回の研修内容を伝播することで、さらに深めていきたい。